



YANMAR

普通型コンバイン

YH1170

117PS



ヤンマーホームページ
<https://www.yanmar.com/jp/>



ヤンマーアグリ最新情報をご紹介
ヤンマーアグリ
公式facebookページ



ヤンマーアグリ製品やサービスをご紹介
「ヤンマー農業チャンネル」
YouTube チャンネルはコチラ



⚠ 安全に関するご注意

- ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 無理な運転は商品の寿命を縮め、故障・事故の原因となることがあります。
- 故障・事故を未然に防止するため、定期点検は必ずおこなってください。
- 保証書は、ご購入の取扱い店で必ずお受け取りください。

商品についてのご意見、ご質問は下記へ

このカタログの仕様は、改良などにより、予告なく変更することがあります。

2025年9月作成 © 01111-J02560 2403①

SMARTPILOT

YANMAR combine **YH1170**

進化した収穫力。



ロスのない脱こく・選別性能と、思い通りの操作性。
直進アシスト搭載で自動でまっすぐな刈取り作業が可能！
収穫作業はもっと効率よく、ラクに。





麦



稲

多彩な作物の収穫を、迅速に効率よく、ムダなく

様々な作物をパワフルに刈取り。

きれいな仕上がりを実現し、収穫ロスを最小限に抑えます。

作物や作業条件に適応し、
より高精度な収穫を。

アタッチメント一覧

詳しくは **P.32** ➡



大豆

実子 コーン

小豆

そば

自動でまっすぐ、省力化

操作はラクに、高能率な作業で疲労軽減！

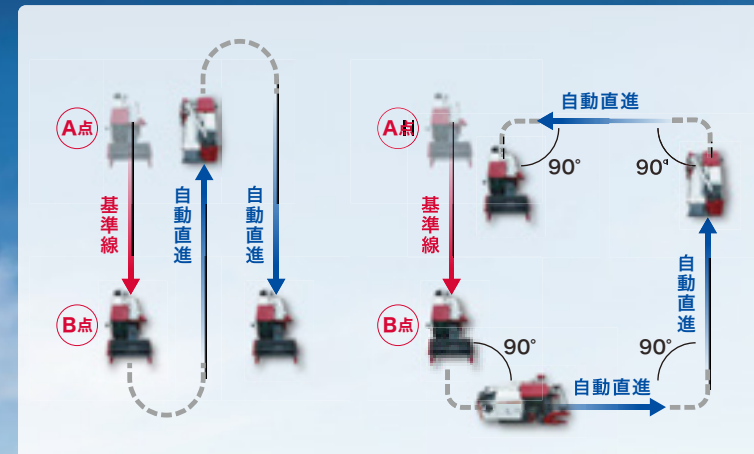
動画でチェック！



安全確認や刈高さの調整に集中でき、広いほ場での作業も疲れにくい

直進アシストとは

衛星から位置情報を取得する自動操舵システムを採用し、基準線を登録するだけで、「基準線に平行な自動直進」と「基準線に対して90度の経路での自動直進」が可能。



多様な作物・ほ場の形でも 基準線を作るだけで刈取作業の労力軽減。

簡単

基準線作成はA点とB点のボタンを押すだけ！

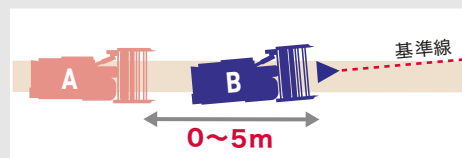
基準線の作り方は2パターン。基準線登録後はAUTOボタンを押せば自動直進開始！
旋回時以外のハンドル操作が不要！

1 A点+B点



A点とB点を指定して基準線をつくります。

2 A点~B点(0~5m)+車両方位角

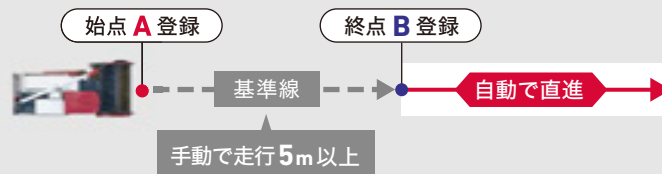


A点~B点間を5m以内に登録するとB点登録時のコンバインの向きから基準線をつくります。

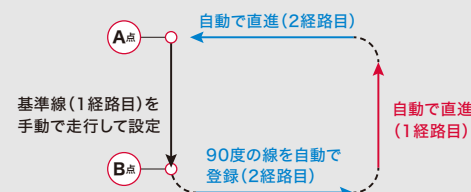
さらに2経路登録が可能

1経路目の基準線を登録すると、基準線に対して90度の線が自動で生成され、2経路目の基準線として登録されます。

作業しながら基準線を登録することも可能！



その場でB点を登録しても基準線登録ができる！



多様な作物に適応

神経を使うハンドル操作は不要で、作物に合わせた細かな調整に集中することができます。

稲・麦
では

リール操作に集中

稲や麦の収穫では、刈高さ自動設定・脱こく時の設定も作業前におこなえば、刈取時はリール操作など細かな調整だけに集中できます。



大豆・コーン
では

刈高さ調整に集中

さやが地面スレスレまであり収穫が難しい作物の刈取時は、直進アシストによって、刈高さの調整のみに集中できます。

様々な条件のほ場に適応

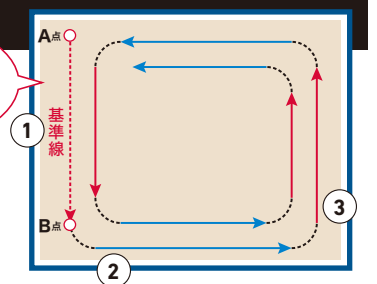
2パターンの基準線作成方法と2経路登録機能で、様々な形のほ場で自動直進が可能です。

正方形・長方形ほ場の際

基準線の2経路登録が可能だから、はじめの外周刈取り時から自動直進できて便利！

- ① 手で走行し、A点+B点で基準線を登録。
- ② 旋回後、AUTOボタンを押して自動直進開始。
- ③ 以降、旋回時以外はAUTOボタンを押すと自動で走行。

進行するにつれての直進方向のズレを軽減するためにはA点-B点をなるべく長い距離で登録します。

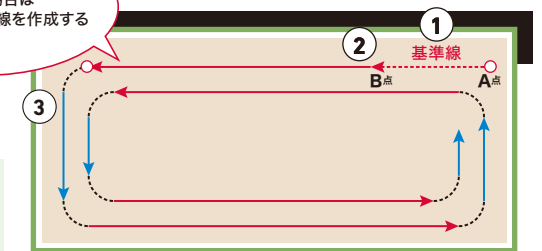


直線が長いほ場の際

作業しながら基準線を登録することもできるから、長い直線での基準線作成時も疲労を軽減！

- ① A点登録後手動で5m以上走行してからB点を登録し基準線を作成。
- ② AUTOボタンを押して自動直進開始。
- ③ 以降、旋回時以外はAUTOボタンを押すと自動で走行。

※基準線がズれていた場合はオフセットボタンなどで微調整後にB点を取り直すことも可能です。

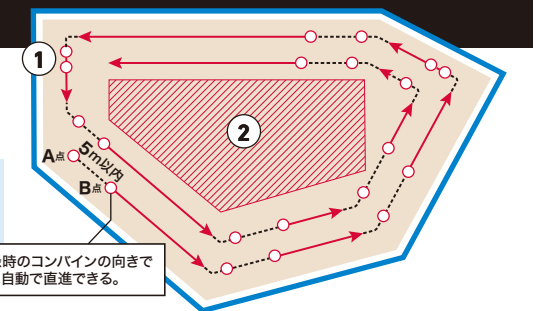


変形ほ場の際

車両方位角で基準線を登録できるから、角が多いほ場での外周作業も自動直進できて便利！

- ① 直線ごとに車両方位角で基準線を登録。
- ② 往復刈りが可能なエリアになれば、基準線と平行に自動直進。旋回時以外はAUTOボタンを押すと自動で走行。

※基準線情報の保存は2経路までとなります。



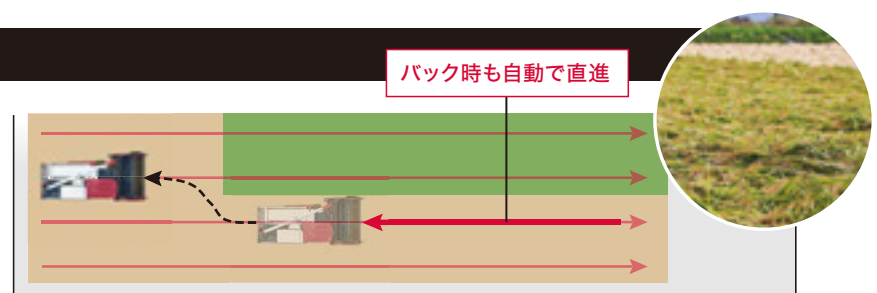
ほ場の形に応じて基準線作成方法を使い分け！

ほ場を分割して基準線登録すればあらゆる場面で自動直進が可能！



作物が倒伏しているときも…

作物の倒伏時などに前後進を繰り返す際の一方方向作業も自動で直進可能なため、効率の良い作業が可能です。



わかりやすく見やすい操作ボックス

直進アシストで使用するボタンは3つだけ。A点・B点を押して基準線を登録した後は、AUTOボタンを押すだけで自動直進を開始できます。また、リール高さを調整するスイッチも操作しやすい手元に配置しています。

直進アシストスイッチボックス

GNSS測位ランプ

測位レベルを確認できます。

- 緑点灯：測位レベルは良好です。
(直進アシストを使用できます)
- 赤点滅：測位レベルが不安定です。
(直進アシストを使用できません)
- 赤点灯：測位中または測位できません。
(直進アシストを使用できません)

緑点灯：A点が設定されています。
緑消灯：A点が設定されていません。

緑点灯：B点が設定されています。
緑消灯：B点が設定されていません。

リール昇降スイッチ

直進アシスト走行中にリール昇降を操作します。
直進アシスト以外の通常作業でも操作することができます。

AUTOスイッチランプ

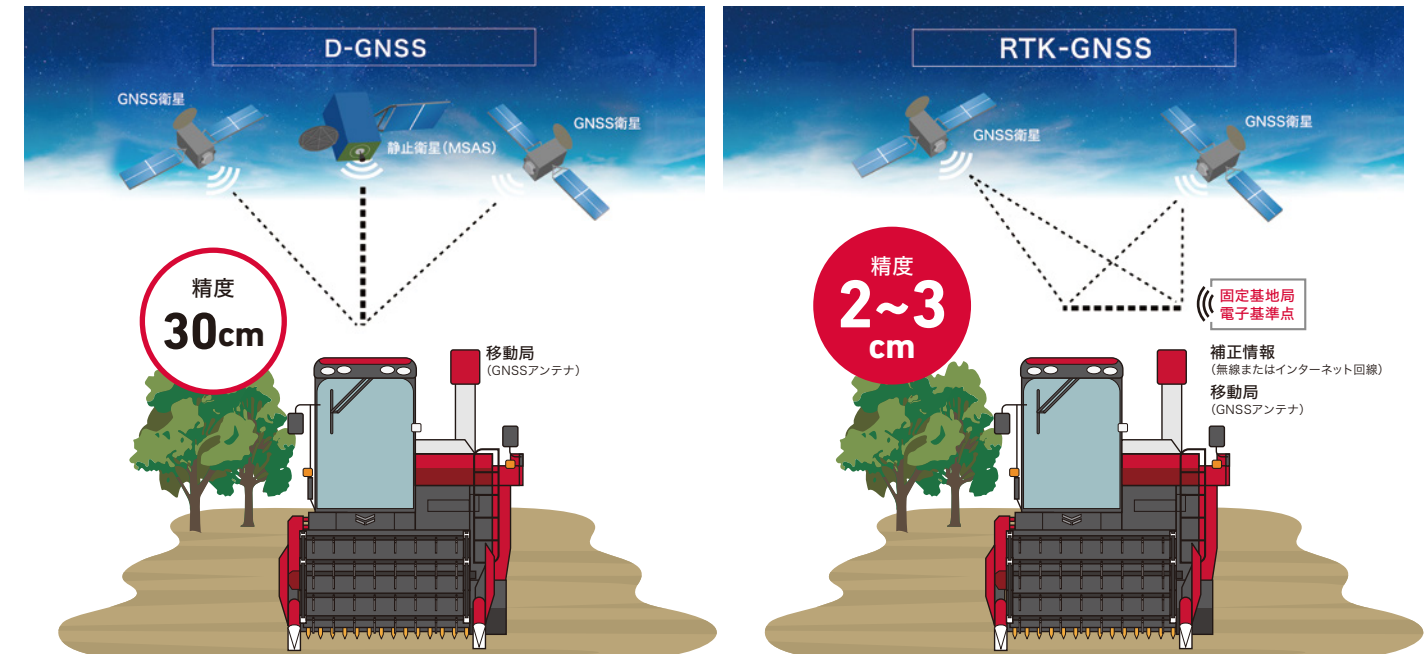
- | | | |
|-----------------------------------|---|-------------------------------|
| | | |
| 【全部点灯】
自動操舵中です。 | 【全部点滅】
自動操舵を開始する準備ができています。 | 【①が消灯】
コンバインが前後左右に傾いています。 |
| | | |
| 【②が消灯】
基準線に対してコンバインの向きが合っていない。 | 【③が消灯】
シートスイッチがOFFまたはセーフティペダルがONになっています。 | 【④が消灯】
副変速が「N」(中立)になっています。 |

経路オフセットスイッチ

作業中、経路からズレている場合は、オフセットスイッチで軌道修正。

選べる2つの位置取得方式

直進アシストはD-GNSS方式で位置情報を取得しています。
オプションとして、さらに高精度な位置情報を取得できるRTK-GNSS方式もご用意しています。



GNSS(GPS, GLONASS等) 衛星と静止衛星(MSAS)からの補正情報で位置を求める測位方式

※ 衛星電波の受信条件(天候や大気の状態、周囲の地形・建物、衛星の数や配置、時間帯等)により自動操舵の精度が低下したり、自動操舵が使用できない場合があります。

GNSS(GPS, GLONASS等) 衛星と固定基地局や電子基準点からの補正情報で位置を求める測位方式 RRS方式・VRS方式ともに対応しています。

オプション

RTKアップグレードキット RTK-GNSS方式での補正情報の取得

基地局	通信方法	通信機器	使用条件
電子基準点・固定基地局 RRS	固定基地局のデータを利用。 ・国土地理院が管理する、全国約1,300カ所に設置されたGNSS連続観測点「電子基準点」 ・地方自治体、JAなどが設置した独自基地局 ・電気通信事業者が設置した独自基地局	デジタル簡易無線	固定基地局より約5km以内
		スマートフォン + Ntripアプリ	回線通信エリア圏内 電子基準点・固定基地局から10km以内
		専用受信端末	
電子基準点 VRS	仮想基準点方式と呼ばれ、複数の電子基準点の観測データから、測量現場の近くにあたかも基準点があるかのような状態(仮想基準点)を作り出す技術。	スマートフォン + Ntripアプリ 専用受信端末	回線通信エリア圏内

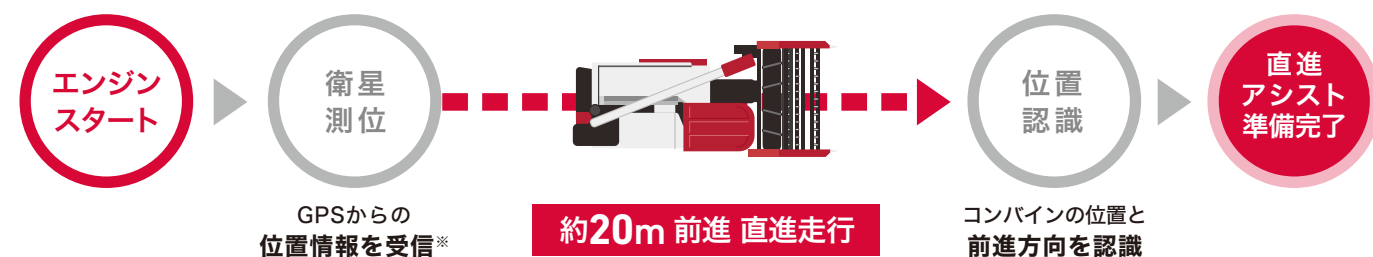
※RTK(Real Time Kinematic)は、リアルタイムキネマティック測定の略で、既知点からの補正観測情報をインターネット回線や無線を利用して、コンバイン(移動局)に送信し、コンバインの位置をリアルタイムで測定する方法を言います。※GNSS(Global Navigation Satellite System(s))は、GPSやGLONASSなどの測位システムの総称で、日本語では「全球航行法衛星システム」や「全球測位衛星システム」と呼ばれています。※電子基準点とは、国土地理院が管理する全国約1,300カ所に設置されたGNSS連続観測点。※ほ場での測位誤差は、RTK-GNSS 2点間の相対位置 誤差/数cm。

※GNSS受信機は、対応型式である必要があります。補正情報:RRS方式/VRS方式補正情報のデータフォーマット:RTCM3.0/RTCM3.1/RTCM3.2/CMR/CMR+ ※Ntrip (Networked Transport of RTCM via Internet Protocol)は、GNSSの観測データや補正データの送受信をインターネット経由で行うための通信方式です。※補正情報サービスには、別途、通信機器代・通信費・利用料がかかります。

※オプションを取り付ける場合、別途取付工賃が発生する場合があります。

〈直進アシストのはじめ方〉

エンジンスタートから手動で20m前進するだけで準備完了!!



コンバインの位置と前進方向を認識

※DGNSS 5分程度、RTK 2~3分程度

速く、力強く、環境にやさしく。



作業速度

2.00 m/s



4TNV94FHT-NRCV

パワーと環境性能が調和した
クリーンディーゼル。

117PS 86kW/2500rpm

ハイパワーと低燃費を両立したコモンレールエンジンに、排ガス中のNOxを大幅に削減する尿素SCRシステムと、PMを捕集するDPFを装着。排ガス規制をクリアしています。

NEW 尿素タンクカバー

尿素タンクカバーをオープンするだけ。
楽に尿素水の補充ができます。

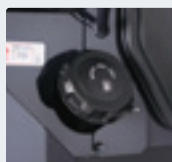


NEW ダストロータ

熱交換機表面への塵の付着を
低減し、あらゆる環境下でも
オーバーヒートを防ぎます。



大容量
燃料タンク
110L



満タンで約1日※連続作業が
できるので、能率が上がります。

※ 作業状況により連続作業時間は変動します。

大型ロータリスクリーン

ラジエーターの目詰まりを防ぎ、エンジンの
冷却性能を保持します。



オーバーロード警報

エンジン負荷の限界点をブザーとランプで
知らせます。

オートデセル

自動でエンジン回転を上下し、燃費と騒音を
抑えます。

自動定回転制御

脱こく部の負荷が変動しても、エンジン回転を
一定に保ちます。

より短時間で、ムダなく刈取る。



刈幅が広いので旋回の回数が少なくすみ、走行距離も短縮できます。

刈幅

3,230 mm

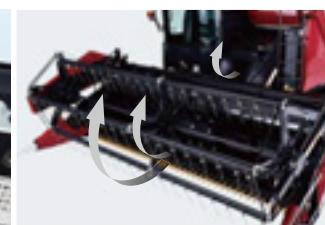
標準ヘッダー 2,060mm
ワイドヘッダー 2,590mm

手間を少なくし、刈取りの能率をアップ。



刈取詰り除去装置

レバーを逆転に入れ刈取部を昇降させれば、リール・プラットホーム
オーガ・フィーダが逆回転し、刈取部の詰りを除去できます。



バックアップ機構

主変速レバーをバックに入れると刈取部が自動上昇。
破損などを防ぎます。

どんなほ場でも安定した走りと作業を。

最適な前後バランス

刈取部の重量を抑え、機体の前後バランスを最適化。
湿田でも安定走行ができ、作業精度が高まります。

ロングハイラゲクローラ

低接地圧と高い走破性で、
湿田でも直進・旋回性に優れています。



高速作業でもていねいに脱こく。 ロスなくきれいに選別。

動画でチェック!



脱こく

ロングローターとスクリュース脱こく方式で
作物を傷めず効率よく脱こく

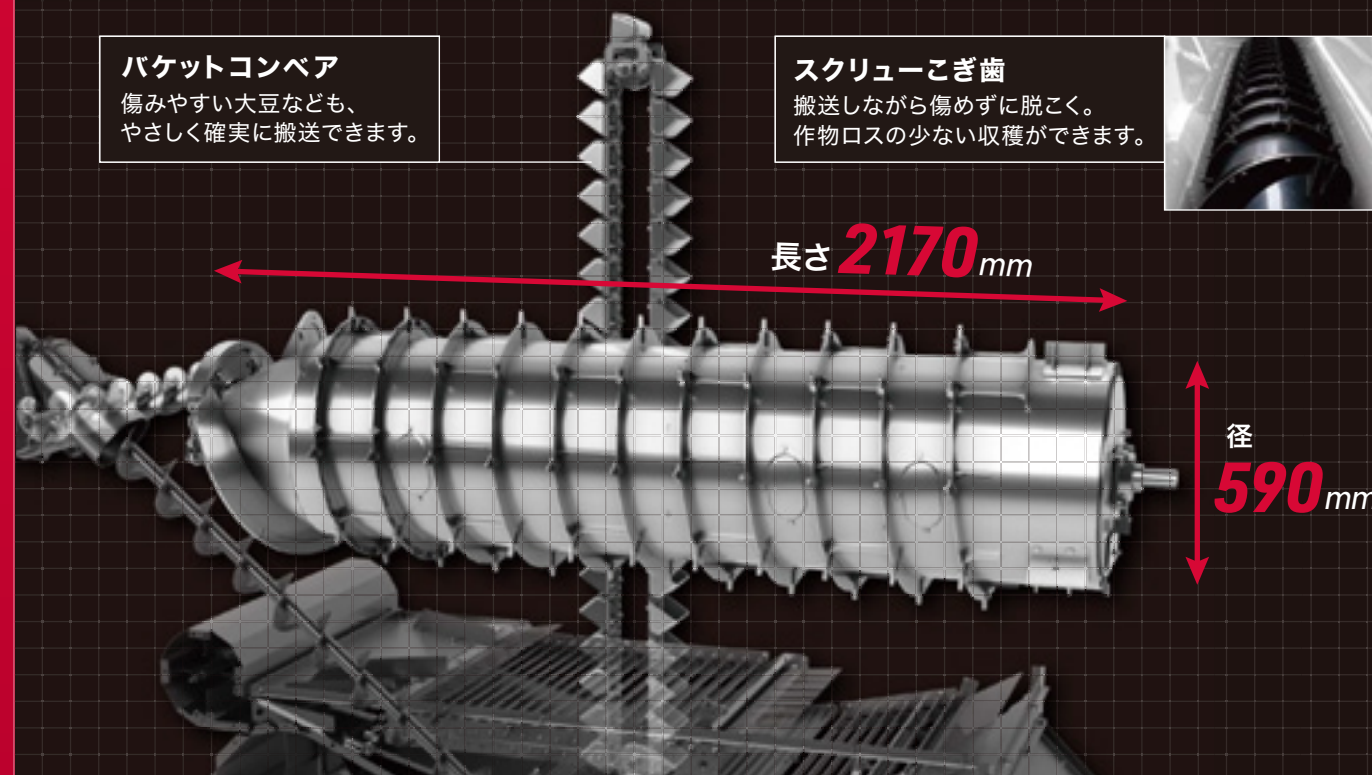
バケットコンベア
傷みやすい大豆なども、
やさしく確実に搬送できます。

スクリュースこぎ歯
搬送しながら傷めずに脱こく。
作物ロスの少ない収穫ができます。



長さ **2170** mm

径 **590** mm



選別

2つのチャフシープと理想的な風の流れて
ロスを少なくきれいな選別

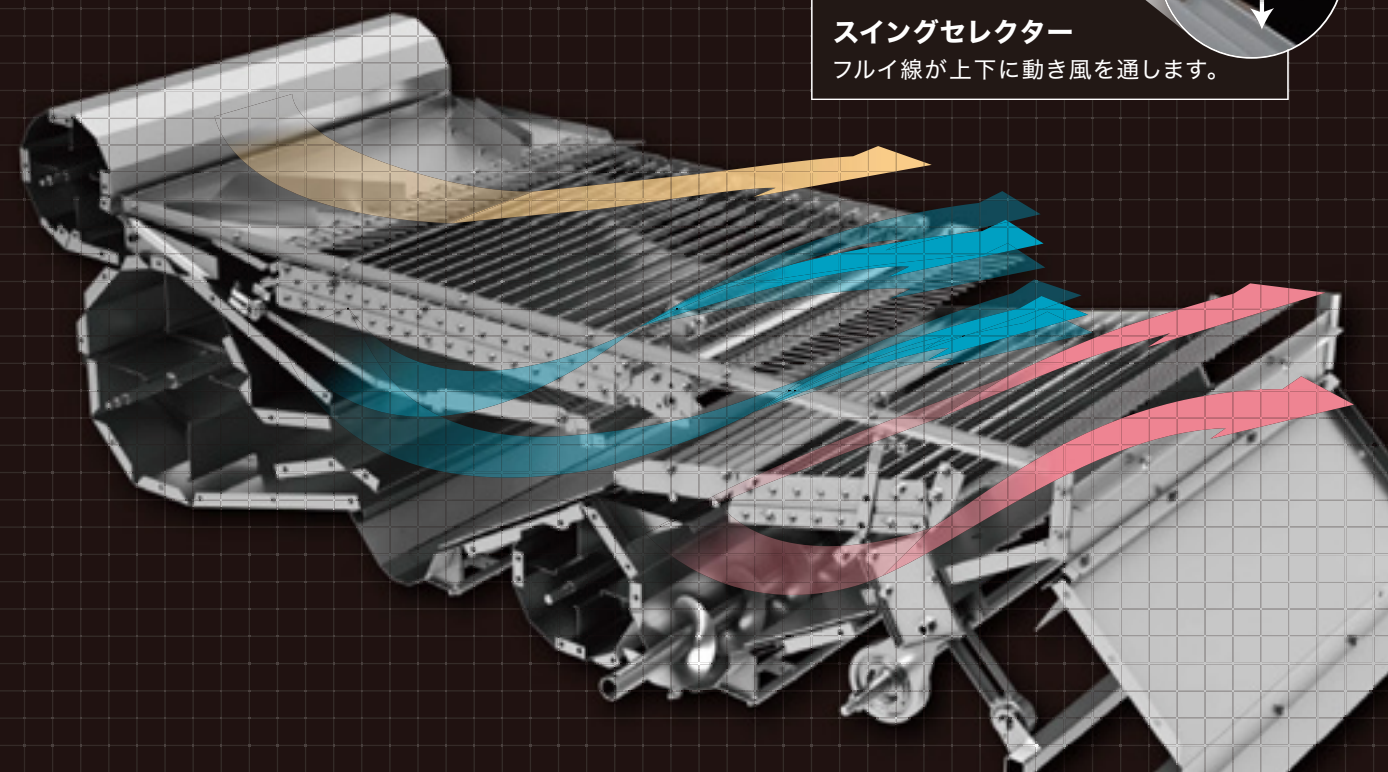
チャフシープ

チャフシープを2つに分け、前部のチャフシープの後端にスイングセクターを設けることで、2番選元の選別を良くし、収量が多い場合でもロス選別の精度を落としません。



スイングセクター

フルイ線が上下に動き風を通します。



トリプルファン

3つのファンで高流量時でも全域に安定した選別風が得られ、高精度に選別。さらにチャフシープの上にも風路を確保し、作物の適応性を高めました。

3段階のローター回転数で作物適応性UP

ローター回転変速レバー

機体後方のレバーで簡単に、作物に合った回転速度に変更することができます。

NEW

3段
変速

稲・麦用

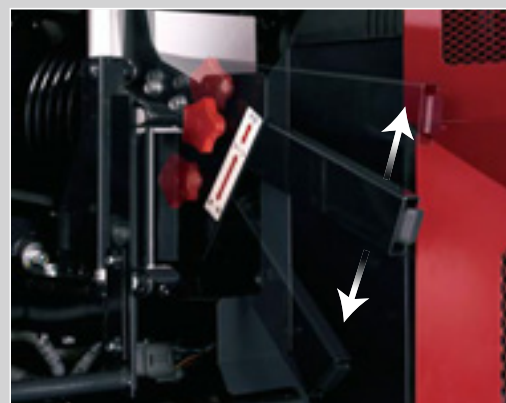
710 rpm

子実コーン用

525 rpm

大豆用

310 rpm



脱こく・選別状況に合わせた調整機能の操作性UP

自動選別制御+ハイグレードクリーンセレクション

排ワラ量を検出し、チャフシープ角度とファン風力を最適に自動調節。面倒な操作なしできめ細かく選別できます。

NEW

手動での
調整も簡単

運転席に座りながら、脱こく部内のチャフシープと唐箕風量がダイヤルで調整できます。



丸ハンドルで操作がスムーズ！ 乗用車感覚の思い通りの走行を実現。

動画でチェック！



感覚的に切れば
切った分だけ
しっかり曲がる
丸ハンドル



丸ハンドル+ 電子制御FDS (e-control FDS)

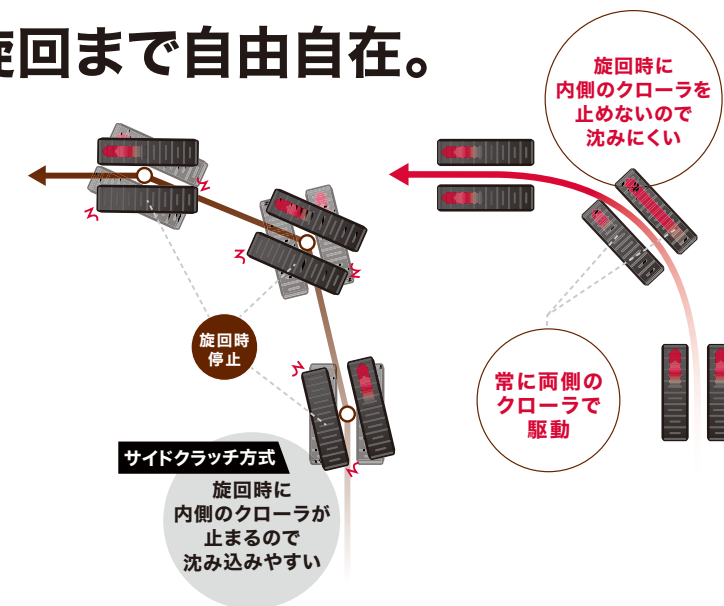
ヤンマー独自の電子制御によるハンドル操作で、大回りの旋回からその場旋回まで自在におこなえます。



マルチハンドル

ハンドルを握ったまま指先で、リールの回転速度調整と昇降操作ができます。

その場旋回から緩やかな旋回まで自由自在。



A 四隅での様々な角度の旋回

最初の四隅では前・後進を繰り返し、徐々に内側に入りこみ刈取り。状況に合わせた様々な旋回がハンドル操作ひとつで思い通りにおこなえます。



B 四隅での90度旋回

四隅の狭いスペースでの90度旋回も簡単におこなえ、最小限の四角の刈取りで能率よく作業がおこなえます。



C 中割り時の急旋回

隣接する条に入る際も180度旋回が簡単におこなえます。



作業中の細やかな調整



丸ハンドル+ マルチハンドル

高速での作業時もリールの微調整が簡単におこなえます。



作業中に必要な操作を集中配置。

オールマイティシフトレバー

動画でチェック！



※Gなし仕様

カラーセンターディスプレイ

太陽光の下や暗がりでも見やすいカラー液晶に各種情報をわかりやすく表示。注意が必要な項目もゲージ量と色の変化によって、ひと目でわかります。



NEW 水分計

作業中の作物の水分を表示。
※適用作物：稲・小麦・大豆 ※水分計はオプションです。
※実際の水分値とは異なる場合があります。

NEW 冷却水温モニター

作業中のエンジン冷却水の温度が一目で確認でき、エンジンがオーバーヒートする前に気づくことができます。

収穫量モニター

リアルタイムの収穫量をわかりやすく表示します。
※適用作物：稲・小麦・大豆 ※オプションの収穫量センサーが必要です。
※実際の収穫量とは異なる場合があります。

刈はじめ



1 刈取オートセットボタン

プラットフォームが設定した刈高さまで下降、リールは設定した位置へ。すぐ刈取作業が始まります。

刈おわり



2 刈取オートリフトボタン

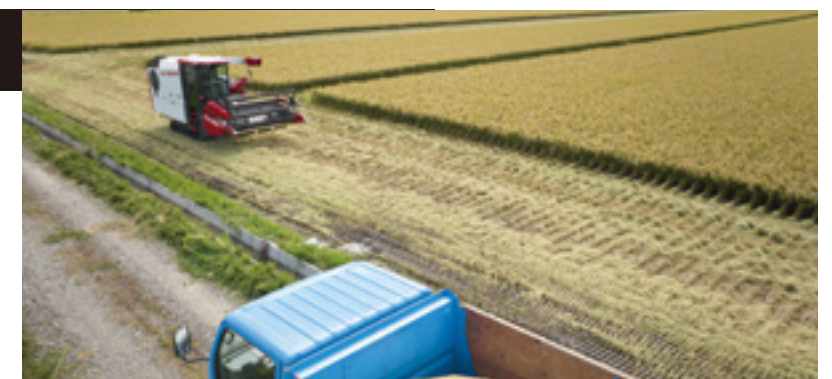
プラットフォームが設定した位置まで上昇、リールは最も下がった位置へ。稈こぼれを防止します。

籾排出の際

3 ノークラッチ副変速ボタン

停止しなくても、ボタン1つですばやく高速に変速でき、排出までの移動時間を短縮できます。

NEW



刈取時 状況に合わせてすぐに調整



4 UFO[刈取部水平制御]操作ボタン

左右の傾斜調整を簡単におこなえます。

7 刈取部昇降スイッチ

刈高さの調節を手動でもおこなえます。



旋回時に便利！

5 AUTOスイッチ

直進アシストの入がオールマイティシフトレバーでもおこなえます。

8 刈取クラッチ入 / 切ボタン

刈取部の作動と停止ができます。



6 リール回転変速 + 前後

リールの回転速度と前後位置を調整できます。



※G仕様

どんなほ場でも安定した走行と作業をおこなえる様々な制御機能。

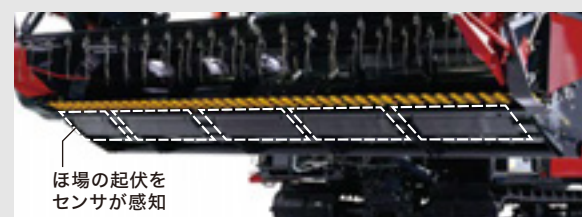
快速制御

設定したエンジン負荷率を超えると自動減速、負荷が減れば元の速度に戻り、高速でも安定した刈取りが可能。



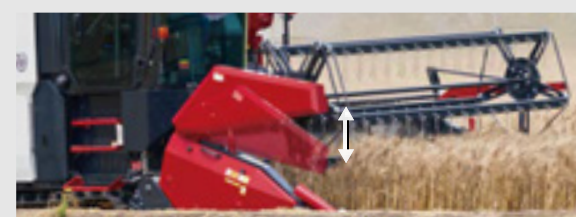
自動刈高さ制御

ほ場の起伏をセンサが感知し、刈高さを自動制御。土の混入による汚粒発生を防ぎ、きれいな刈取りができます。



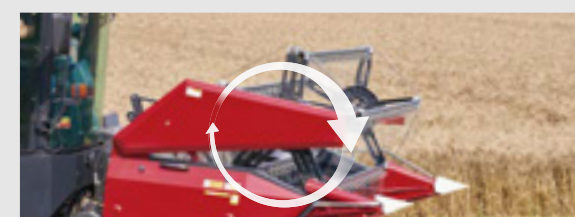
リール高さ制御

プラットフォームとリールの隙間を自動制御し、長時間作業での疲労軽減やヘッドロスの低減に貢献します。
※刈高さ手動スイッチによる操作の場合「リール高さ制御」は機能しません。



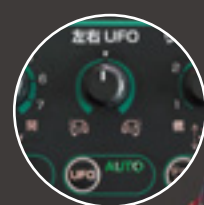
リール回転车速同調

刈取速度に合わせてリール回転速度を自動制御。刈始めから高速時まで、稈の取り込みが安定します。



刈取部水平制御機構[UFO]

機体が傾いても刈取部を自動で水平に制御。刈り残しや土の混入を防ぎ、湿田でも安定した作業ができます。



作業中も操作しやすい配置

運転席の左パネルにスイッチ・ダイヤル類を集中配置。



良好な視界性と快適な空間で ゆとりの作業。

動画でチェック！



チルトハンドル
ハンドル角度が調節でき、快適な運転姿勢で作業ができます。



左右上部窓オープン（跳ね上げ式）
状況確認やバックミラーの確認に便利です。



携帯ポケット／USB電源ポート
携帯電話やポータブルオーディオなどの充電ができます。



※写真はエアコンです。Bluetooth対応オーディオはオプションです。

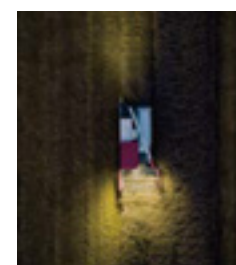
エアコン／Bluetooth対応オーディオ
音楽も楽しめ、室内環境をいつでも快適に保ちます。
コンデンサファン逆転機能
塵の堆積を防ぎ、冷却性能の低下を防ぎます。



**アームレスト付き
セミサスペンションシート**
前後・上下・背もたれの調節が可能。
※G仕様：シートスイッチセンサーで人が座っているかを感知。座っていない時は自動操舵が作動せず、誤作動を防ぎます。

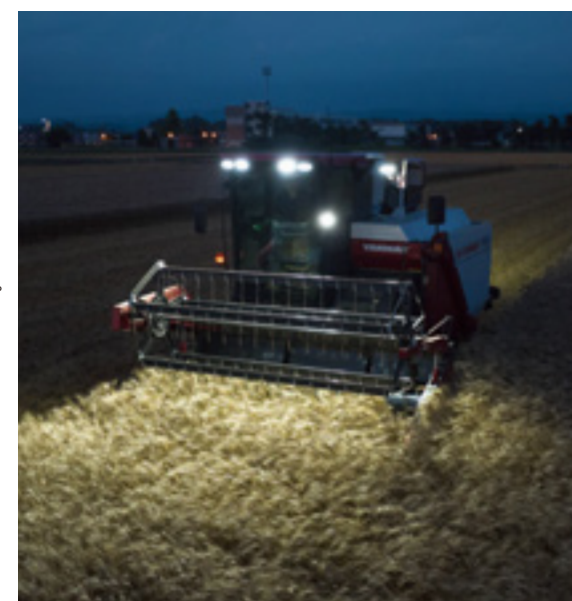


NEW LEDライト
各部の高輝度ハロゲンライトやLEDで、夜間でも視認性を高めます。



※右後方作業灯はオプションです。

**バックライト付き
SWボックス**
スイッチ・ダイヤル類には暗がりや夜でも見やすいLEDバックライトを搭載しています。



オーガの位置調整がしやすく
効率よく均一な排出が可能。

動画でチェック！



NEW

オーガシュータ

排出口の向きを調節でき、
均一排出が可能。水平にする
と口が閉じ粉がこぼれません。

1900L 大容量グレンタンク

広いほ場でも排出回数が少なくすみ、長時間の連続作業にも充分に対応。
作業時間の短縮に貢献します。

NEW

グレンタンクの粉センサ4段化

粉の充てん量を細かく把握することができ、
排出のタイミングがはかりやすくなります。充
てん量は、センターディスプレイの粉シグナル
によりひと目で確認できます。

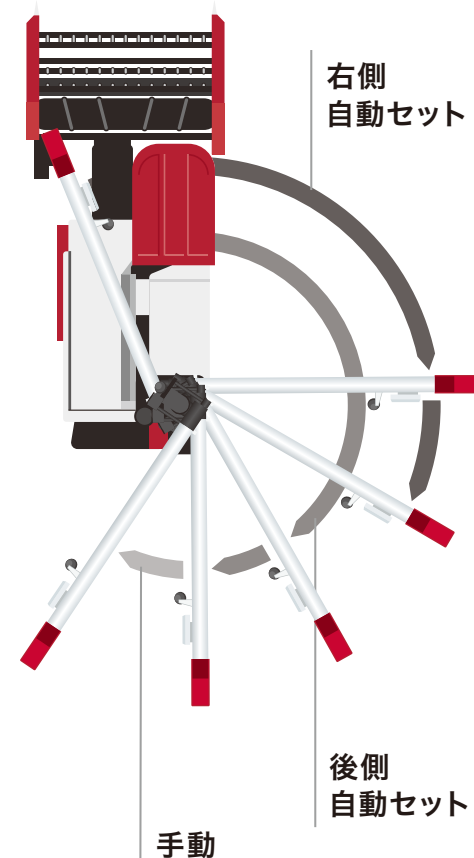


スイングプレート

グレンタンク底板を揺動し、湿材に
起こりやすいブリッジ現象を防止。作
物を排出コンベアへスムーズに送り
ます。



シンプルな操作でコンテナへの均一排出が確実にできる



オーガオートセット/オートリターン

4つの位置へのオーガのセットがボタン1つで簡単にでき、収納も
ワンタッチ。作業時間のロスを減らします。

※手動によるセット・収納もできます。

オーガ未収納警報

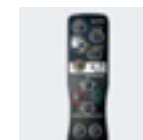
オーガを上げたまま移動するとブザーでお知らせ。倉庫への格納時など
にも安心です。



デュアルモニター

機体後方と排出オーガ先端の映像が運転席で同
時に確認でき、効率よく安全に作業が行えます。

※1画面表示も可能です。



オーガマルチリモコン

オーガ旋回や粉排出のクラッチなど、オーガの動きを見な
がらリモコン1つでラクに操作できます。



無線オーガリモコン

機体から離れてオーガのセットや収納、排出ができ、補助
者の負担を軽減。暗くても見やすいバックライト付きです。

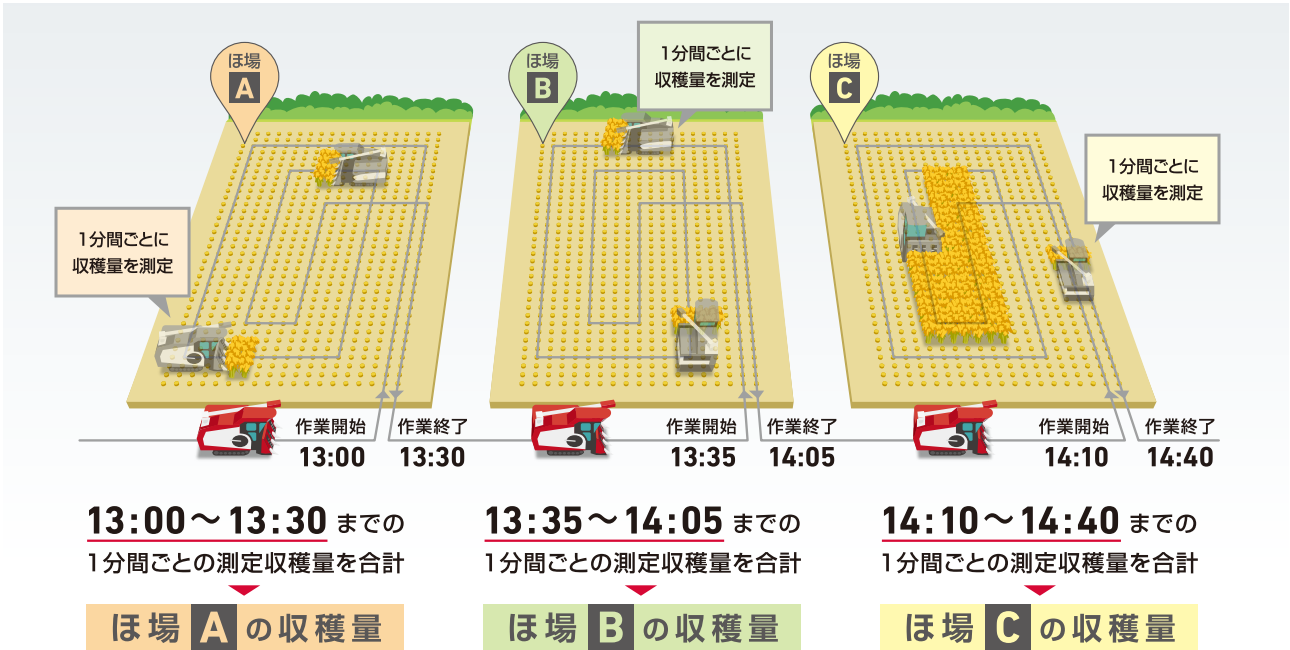
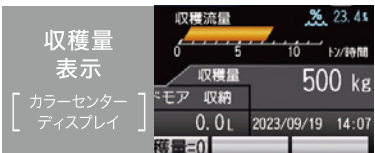
収穫しながら収量を測定、Webサイトで収量分析までできる。

〔 情報支援機能 〕

収穫量を自動で測定し、ほ場ごとの収穫量を算出。

■ 収穫量モニター機能 [YM-KIT, 1170装着時]

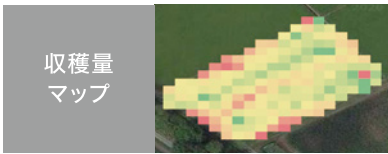
収穫量センサーが1分間あたりの収穫量を測定し、その積算を合計収穫量とします。この収穫量データに「時間(何時何分から何時何分まで)」と「位置(どのほ場で収穫したか)」の情報を組み合わせることで、ほ場1枚あたりの収穫量を算出します。



ほ場内の収穫量のバラつきを見える化。

■ 収穫量マッピング機能 [YM-KIT, 1170装着時+DOP]

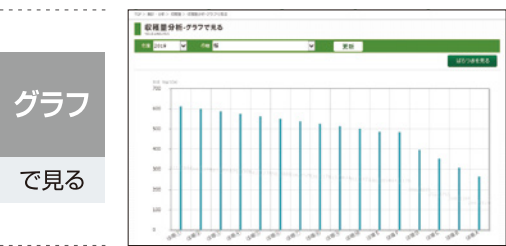
より短いスパンでの収穫量の測定を実現し、メッシュ(網目)単位で表示します。メッシュ一辺の長さは5m・10m・15m・20mから選択可能。ほ場内の収穫量のバラつきが把握でき、土作りや施肥設計など翌年のほ場改善に活かれます。



収穫情報を一括管理、わかりやすく集計・表示。



ほ場ごとの収穫量を自動で見やすく記録。
コンバインが計測した収穫量をスマートアシストの画面で確認すると、ほ場ごとの収穫量として一覧表示されます。



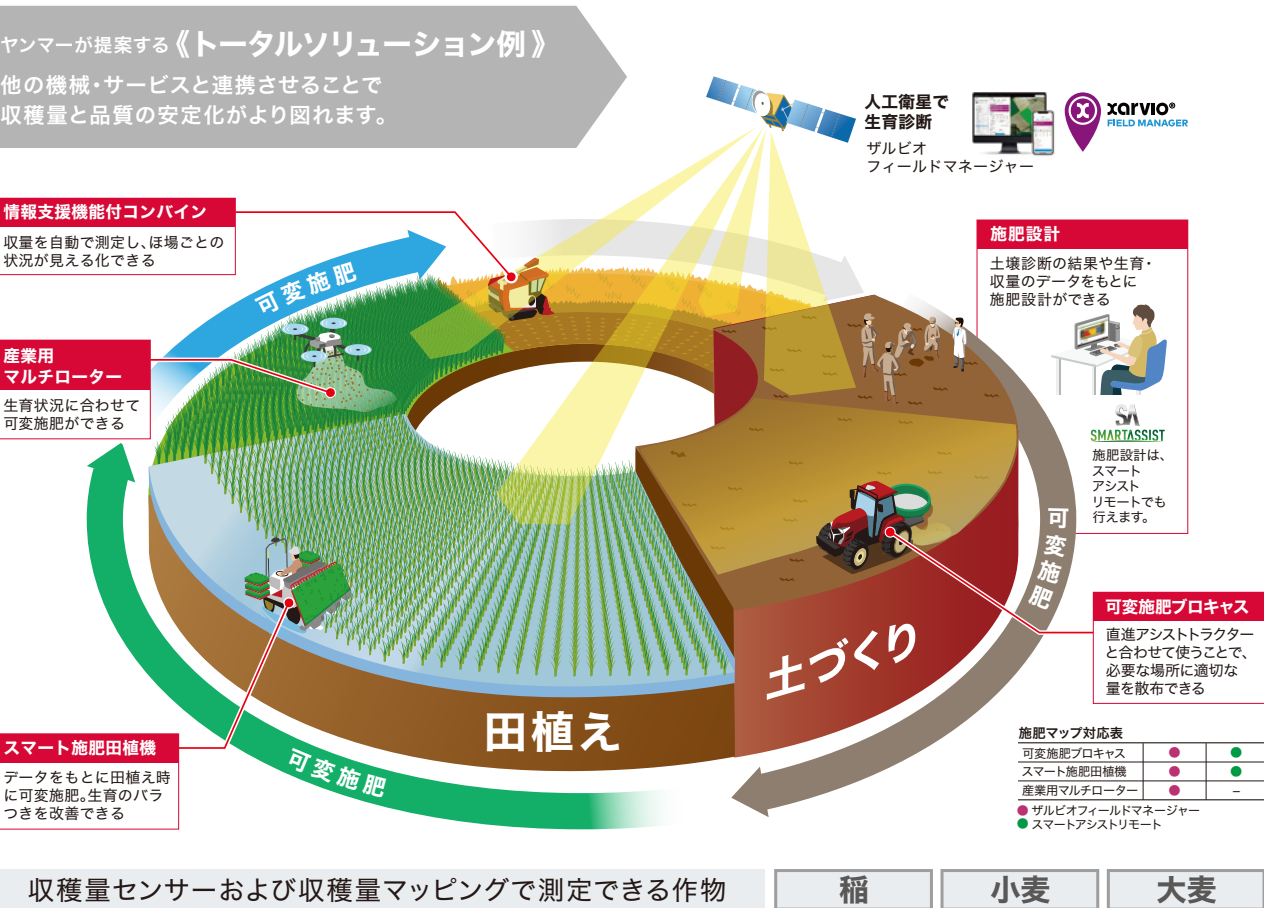
反収の順位を確認、比較対策がしやすい。
ほ場ごとの反収を多い順に棒グラフで表示・確認でき、作物の品種による理想的な収穫量範囲の比較分析などに役立ちます。



エリア別の収穫量の傾向も一目でわかる。
ほ場ごとの収穫量を反収の多い・少ないにより色分けされた地図で確認。ほ場の特性がつかめ、次作の作付計画に活用できます。



全ほ場での収穫量・品質の安定化に便利。
反収別にはほ場枚数を積み上げた棒グラフで反収の分布を確認でき、反収ベスト5・ワースト5のほ場情報も一覧できます。



※ 収穫量センサーは衝撃力検出型収穫量測定方式。精度は±5%以内となるように設計していますが、ほ場・作物条件によってこれらの精度から外れる場合があります。
※ 収穫量センサーのセンサーパッドは、250時間ごとを目安に点検し、500時間使用またはパッドの厚みが1mm以下になった時を目安に交換してください。

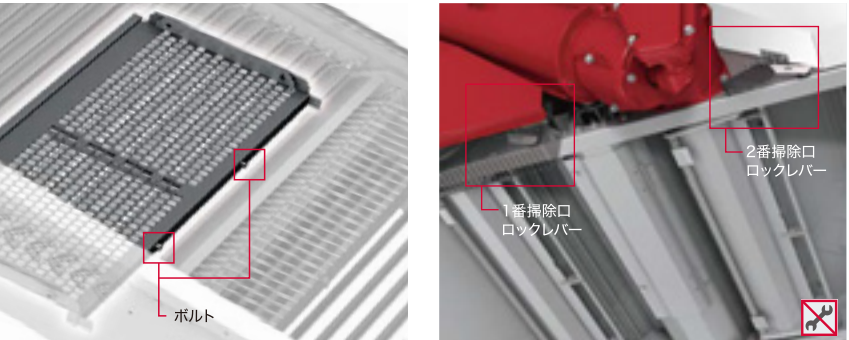
メンテナンスも簡単・安心に。

高所作業での安全性を向上



- 安全帯取付用フック
- 胴ベルト型安全帯
- 収納式ラダー
 - 作業時
 - 収納時
- 滑り落ち防止用ステップガード／歩行板

安全装備の充実により、フィーダハウスに乗ってのメンテナンス作業などがより安心して行えます。



- グレンシーブ

取付けボルトが手の届きやすい位置にあるので掃除が容易にでき、作物変更時の交換作業もより効率よく行えます。
- 1番・2番コンベア

脱こく左側板側のロックレバーにより1番・2番コンベア掃除口の開閉がしやすく、掃除が容易に行えます。
- バケットエレベータの掃除ふた

掃除口の追加で、メンテナンス性が向上し掃除作業が楽に行えます。

工具なしで点検・整備ができます。



- ロックレバー
- ファスナー
- Rピン
- ノブボルト



- フィーダハウス上側〔ファスナー〕
- フィーダハウス下側〔ノブボルト〕
- 2番受継上部
- ローターカバーオープン
- 2番コンベア樋〔ファスナー〕
- 揺動部着脱
- 2番受継下部
- ロータースクリーンオープン
- 排出オーガ掃除口〔ファスナー〕
- グレンタンクオープン
- グレンタンク上部受継
- グレンタンク下部受継
- 昇降機底蓋〔ファスナー〕
- グレンタンク底蓋〔ファスナー〕
- グレンタンク下部コンベア底蓋〔Rピン〕
- クローラ駆動2分割スプロケット

高耐久化でランニングコストを抑制。



- ローターカバー内側

ローターカバー内側はステンレス製で錆びにくく、補強板は締結式を採用。ローターカバーを仕組で交換する必要がなく、メンテナンス費用を低減できます。
- エバーツース

超硬こぎ歯の採用により、初期の性能が長時間持続します。
- クリンブ網

錆びにくいステンレス製なので、耐久性に優れています
- 刈刃駆動ケース

表面の硬度が高い部品を採用。耐摩耗性に優れています。
- 揺動板

錆びにくいステンレス製なので、耐久性に優れています。
- 転輪グリスバス方式

摩耗を抑えグリスアップも容易。保守費用を低減できます。

■ 主要装備

[★:新機能 ○:標準装備 ▲:工場・販売店オプション]

販売型式名	YH1170					
区分	QSJ(G)	QSMJ(G)	QWSJ(G)	QWSMJ(G)	QW32SJ(G)	QW32SMJ(G)
直進アシスト ★	G仕様	G仕様	G仕様	G仕様	G仕様	G仕様
エコディーゼルエンジン	○	○	○	○	○	○
DPF	○	○	○	○	○	○
SCR	○	○	○	○	○	○
尿素タンクカバー ★	○	○	○	○	○	○
快速制御	○	○	○	○	○	○
自動定回転制御	○	○	○	○	○	○
オートデゼル	○	○	○	○	○	○
大型ロータリスクリーン	○	○	○	○	○	○
ダストロータ ★	○	○	○	○	○	○
冷却リングファン ★	○	○	○	○	○	○
キャビン[Q]	○	○	○	○	○	○
キャビンドア上部オープン	○	○	○	○	○	○
エアコン	○	○	○	○	○	○
サスペンション付きスライドシート	○	○	○	○	○	○
カラーセンターディスプレイ	○	○	○	○	○	○
水温モニター ★	○	○	○	○	○	○
バックライト付きSWボックス	○	○	○	○	○	○
コンデンサファン逆転機能 ★	○	○	○	○	○	○
ワイドヘッダー[W](幅2.6m)	-	-	○	○	-	-
スーパーワイドヘッダー[W32](幅3.2m)	-	-	-	-	○	○
刈取部水平制御機構(高速電動シリンダ)	○	○	○	○	○	○
リール回転車速同調	○	○	○	○	○	○
自動刈高さ制御(2モード)	○	○	○	○	○	○
刈取オートリフト・オートセット	○	○	○	○	○	○
リール高さ制御	○	○	○	○	○	○
刈取詰り除去装置	○	○	○	○	○	○
バックアップ機能	○	○	○	○	○	○
セカンドモア[M]※1	▲	○	▲	○	▲	○
ロングハイラックローラ[J]	○	○	○	○	○	○
マルチハンドルFDS(電子制御) ★	○	○	○	○	○	○
オールマイティシフトレバー	○	○	○	○	○	○
デュアルモニター(バック&オーガ)	○	○	○	○	○	○
自動脱こく制御	○	○	○	○	○	○
チャフシーブ・風量 ダイアル調整 ★	○	○	○	○	○	○
ローター変速(3段) ★	○	○	○	○	○	○
グレンタンクスイングプレート	○	○	○	○	○	○
グレンタンクオープン	○	○	○	○	○	○
グレンタンク粗センサ(4段) ★	○	○	○	○	○	○
オーガオートセット・オートリターン	○	○	○	○	○	○
オーガシュータ ★	○	○	○	○	○	○
オーガマルチリモコン	○	○	○	○	○	○
無線オーガリモコン(オートリターン機能付)	○	○	○	○	○	○
オーガ未収納警報	○	○	○	○	○	○
排出オーガ掃除口	○	○	○	○	○	○
個別イグニッションキー	○	○	○	○	○	○
スプレッダ[S]	○	○	○	○	○	○
キャビン・オーガ先端ライト(LED) ★	○	○	○	○	○	○
SA-R(スマートアシストリモート)	○	○	○	○	○	○

※1 セカンドモアはオプションとして後付けができます。

■ オプション（アタッチメント）

名称		型式	仕様	備考
スプレッダ		CSS1170	CW	排程作業時に、排ワラをほ場に均等に散布します。※YH1170全仕様に標準装備
セカンドモア	2.1mリールヘッダー用	CSM1170		高刈り作業時の残株を、刈取りと同時に再切断します。 ※M仕様には標準装備
	2.6mリールヘッダー用		W	
	3.2mリールヘッダー用		W32	
麦取込みキット		WR1170		ポリウームの多い麦を刈取りする場合などに取り込み性を向上します。 ※麦以外の作物を収穫する場合には取り外しが必要です。
ビーンキット(ビーンスラットを含まない)		B1170		大豆の収穫時に必要な部品です。
ビーンスラット	2.1mリールヘッダー用	B1170	SLAT	豆類の取込性がよく穀物にやさしいため、 ヘッドロスの少ない収穫ができます。
	2.6mリールヘッダー用	B1170W		
	3.2mリールヘッダー用	B1170W32		
小豆キット	ビーンキット有	RB1150A		小豆の収穫時に必要な部品です。
	ビーンキット無	RB1150B	1150A	
ロークロップヘッダー	ユニット [4畦タイプ]	CRC4A (※1)	1170	リールヘッダーでは取込み困難な短稈の豆類でも、ヘッドロスの少ない 収穫ができます。※適応作物:大豆・小豆 ※適応条間:600～690mm
	プラットフォーム	CRC1170 (※1)	PF	
ダイレクトピック	2.6mリールヘッダー用	DP26	1170	リールヘッダーに装着し、刈り倒した小豆の収拾作業が行えます。
大豆直接排出キット (※2)	排出高さ1660mm 装着時全高2930mm	B1170-S		バケットコンベアで大豆をさらにやさしく排出します。 ※適応作物:大豆
	排出高さ2610mm 装着時全高3880mm	B1170-L		
タインキット	2.1mリールヘッダー用	B1170	TINE-JP	ヘッドロスを防ぐためにタインを追加する専用部品です。
	2.6mリールヘッダー用	B1170W		
	3.2mリールヘッダー用	B1170W32		
樹脂タインキット	2.6mリールヘッダー用	B1170W	RESIN-T	樹脂製のタインにより、豆類をよりやさしく取込むことが可能です。
	3.2mリールヘッダー用	B1170W32		
リフター(数量:1個)		7S7603-17550		最下着英位置が低い、もしくは倒伏している大豆を収穫するときに、 刈取部への取り込みをよくする専用部品です。
そばキット	ビーンキット有	BW1150A		そばの収穫時に必要な部品です。
	ビーンキット無	BW1150B		
2番還元処理装置		B1170	2ND	2番還元物をこぎ胴ではなく揺動棚に直接還元し大豆の汚粒を低減します。 還元先(こぎ室または揺動棚)は切替可能です。※適応作物:大豆
コーン脱こく部キット	ビーンキット有	C1170		子実用とうもろこしの収穫時に必要な部品です。 ※ 収穫するとうもろこしの水分や草丈に合わせて、 本機を調整する必要があります。
	ビーンキット無		B	
コーン刈取部キット	2.1mリールヘッダー用(※3)	D1150		※ とうもろこしの水分が25%以下で、 作業速度0.8m/sを限度としてご使用ください。
	2.6mリールヘッダー用(※3)		W	
	3.2mリールヘッダー用(※3)		D1150A	
コーンヘッダー[3畦タイプ]		CH3R	1150A-JP (※4)	リールヘッダーでは刈取り困難な、強風や降雨などで倒伏した 子実用とうもろこしでも、ヘッドロスの少ない収穫ができます。
コーンヘッダージョイントキット		DS1170		コーンヘッダーを本機に装着するために必要な部品です。
リールヘッダー	2.1mリールヘッダー	CRH200	1170	刈幅が広ければ旋回の回数が少なく、走行距離も短縮できます。
	2.6mリールヘッダー	CRH260		
	3.2mリールヘッダー	CRH320		
収穫量センサー		YM-KIT	1170	ほ場ごとの収量を測定できます。※適応作物:稲・小麦・大豆
収穫量マッピング		8-270 (※5)		ほ場内の収穫量を測定し、メッシュ(網目)単位で表示します。
水分計		M-KIT1170		収穫作物の水分値を測定できます。※適応作物:稲・小麦・大豆 ※収穫量センサー【YM-KIT,1170】が別途必要です
Bluetooth対応オーディオ		7S7609-78500		スマートフォン等と無線で接続でき、音楽を聴くことが可能です。
右後方作業灯(LED)		7S7609-82000		機体右後方を照らすLED作業灯です。
鍵付き燃料キャップ		1A8473-04602		燃料の盗難を防止する鍵付きキャップです。
RTKバージョンアップ		RTK-UPG	1170	精度の高い位置情報の取得により、直進性能が向上します。 ※適応仕様:G仕様
CFX-BOX用 アンテナ移設キット		7S7609-78100		補正端末(CFX-BOX)が補正情報を取得しにくい場合に、アンテナを 移設するためのキットです。※適応仕様:G仕様

※1: ユニット【CRC4A,1170】とプラットフォーム【CRC1170,PF】のマッチングが必要です。 ※2: B1170-SとB1170-Lのどちらかを選択できます。 ※3: コーン脱こく部キットが別途必要です。

※4: コーン脱こく部キット、コーンヘッダージョイントキットが別途必要です。 ※5: ソフトコードになります。詳しくはヤンマーのお店、特約店、JAにお問合わせください※表裏の販売モデルとは形状が異なる場合があります。

※オプションを取り付ける場合、別途取付工賃が発生する場合があります。

〈アタッチメント〉作物や作業条件に合ったスタイルで、より高精度な収穫を。

■ 作物別アタッチメント一覧

△：オプション

稲	商品名	型式	仕様	リールヘッダー (2.1m)	リールヘッダー (2.6m)	リールヘッダー (3.2m)
	スプレッド	CSS1170	CW	標準装備	標準装備	標準装備
	セカンドモア	2.1mリールヘッダー用	CSM1170	△		
		2.6mリールヘッダー用	CSM1170	W	△	
		3.2mリールヘッダー用	CSM1170	W32		△
	収穫量センサー / 収穫量マッピング	YM-KIT	1170	△／△	△／△	△／△
	水分計	M-KIT1170		△※1	△※1	△※1

※1：水分計の装着時は収穫量センサーが別途必要です。

△：オプション

麦	商品名	型式	仕様	リールヘッダー (2.1m)	リールヘッダー (2.6m)	リールヘッダー (3.2m)
	スプレッド	CSS1170	CW	標準装備	標準装備	標準装備
	麦取込みキット	WR1170		△	△	△
	収穫量センサー / 収穫量マッピング	YM-KIT	1170	△／△※2	△／△※2	△／△※2
	水分計	M-KIT1170		△※1 ※2	△※1 ※2	△※1 ※2

※1：水分計の装着時は収穫量センサーが別途必要です。※2：小麦のみ

○：必須 △：オプション

大豆
小豆

商品名	型式	仕様	リールヘッダー (2.1m)		リールヘッダー (2.6m)		リールヘッダー (3.2m)		ロークロップ ヘッダー		ダイレクト ピックアップ
			大豆	小豆	大豆	小豆	大豆	小豆	大豆	小豆	小豆
スプレッド	CSS1170	CW	標準装備		標準装備		標準装備		標準装備		標準装備
ビーンキット	B1170		○	△	○	△	○	△	○	△	△
ビーンスラット	2.1mリールヘッダー用	B1170	○	△							
	2.6mリールヘッダー用	B1170W			○	△					
	3.2mリールヘッダー用	B1170W32					○	△			
小豆キット	ビーンキット有り	RB1150A		○		○		○		○	○
	ビーンキット無し	RB1150B	1150A	(どちらか)		(どちらか)		(どちらか)		(どちらか)	(どちらか)
ロークロップ ヘッダー	ユニット [4畦タイプ]	CRC4A	1170						○	○	
	プラットフォーム	CRC1170	PF						○	○	
ダイレクトピック	2.6mリールヘッダー用	DP26	1170								○
大豆直接 排出キット	排出高さ1660mm 装着時全高2930mm	B1170-S		△ (どちらか)		△ (どちらか)		△ (どちらか)		△ (どちらか)	
	排出高さ2610mm 装着時全高3880mm	B1170-L									
タインキット	2.1mリールヘッダー用	B1170	TINE-JP	△	△						
	2.6mリールヘッダー用	B1170W	TINE-JP			△	△				
	3.2mリールヘッダー用	B1170W32	TINE-JP					△	△		
樹脂タイン キット	2.6mリールヘッダー用	B1170W	RESIN-T			△	△				
	3.2mリールヘッダー用	B1170W32	RESIN-T					△	△		
リフター (数量:1個)	7S7603-17550		△	△	△	△	△	△			
2番還元処理装置	B1170	2ND	△		△		△				
収穫量センサー / 収穫量マッピング	YM-KIT	1170	△/△		△/△		△/△		△/-		
水分計	M-KIT1170		△※1		△※1		△※1		△※1		

※1：水分計の装着時は収穫量センサーが別途必要です。

○：必須 △：オプション

そば		型式	仕様	リールヘッダー (2.1m)	リールヘッダー (2.6m)	リールヘッダー (3.2m)
	スプレッド	CSS1170	CW	標準装備	標準装備	標準装備
	ビーンキット	B1170		△	△	△
	そばキット	ビーンキット有り	BW1150A	○(どちらか)	○(どちらか)	○(どちらか)
		ビーンキット無し	BW1150B			

○：必須 △：オプション

子実用 とうもろこし	商品名	型式	仕様	リールヘッダー (2.1m)	リールヘッダー (2.6m)	リールヘッダー (3.2m)	コーン ヘッダー
	スプレッド	CSS1170	CW	標準装備	標準装備	標準装備	標準装備
	ビーンキット	B1170		△	△	△	△
	コーン脱こく部 キット	ビーンキット有り	C1170	○ (どちらか)	○ (どちらか)	○ (どちらか)	○ (どちらか)
		ビーンキット無し	C1170	B			
	コーン刈取部 キット	2.1mリールヘッダー用	D1150	○			
		2.6mリールヘッダー用	D1150	W	○		
		3.2mリールヘッダー用	D1150A	W32		○	
	コーンヘッダー [3畦タイプ]	CH3R	1150A-JP				○
	コーンヘッダージョイントキット	DS1170					○

※ オプションを取り付ける際、別途取付工賃が発生する場合があります。

大豆 小豆 豆類を高精度に刈取り、ヘッドロスを削減。

詳細はこちら



ロークロップヘッダー

ユニット **CRC4A, 1170**

プラットフォーム **CRC1170, PF**

普通型コンバインのリールヘッダー式では取込み困難な短稈でも、土の混入を防ぎしっかり収穫できます。

※ 取付けには一部加工が必要になる場合があります。



小豆 小豆収穫を適期・高品質に、労働力も軽減。

詳細はこちら



ダイレクトピックアップ

[2.6mリールヘッダー用]

DP26, 1170

リールヘッダーに簡単に装着でき、刈り倒した小豆のピックアップ収穫が行えます。

※ 取付けには一部加工が必要になる場合があります。

※ ダイレクトピックによる作業時は、セカンドモアを取り外してください。



子実用とうもろこし 子実用とうもろこし収穫を、速く、精度よく。

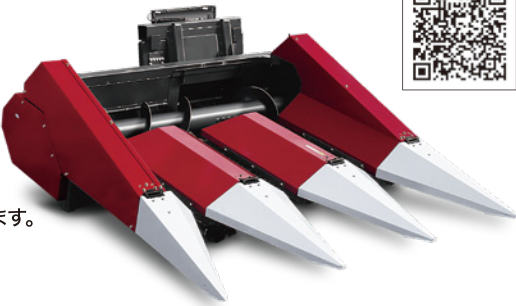
詳細はこちら



コーンヘッダー

CH3R, 1150A-JP

難しい操作なしで速やかに刈取り、ローリングカッターによる子実と茎葉の分離でキレイに選別できます。



ロークロップヘッダー・コーンヘッダー用本機として、リールヘッダー無し仕様（YH1170, QSJRN）をご用意しています。

主要諸元

名称	ヤンマーロークロップヘッダー	
販売型式名	ユニット	CRC4A, 1170
	プラットフォーム	CRC1170, PF
機体寸法	全長 (mm)	6455
	全幅 (mm)	3060
	全高 (mm)	2760
機体質量 (重量) (単体)	(kg)	608
刈取部	適応作物	大豆・小豆
	刈取条数	4条
	条間調節範囲 (mm)	600-690
	刈取方式	ディスク
	搬送方式	ベルト・車速同調
	ゲージホイール調節	電動 (油圧)

※ 機体寸法は本機装着時の寸法。

主要諸元

名称	ヤンマーダイレクトピック	
販売型式名	DP26, 1170	
機体寸法	全長 (mm)	6200
	全幅 (mm)	2910
	全高 (mm)	2760
機体質量 (重量) (単体)	(kg)	206
チェーンバー	本数	14本
	長さ	260 (8本)
		310 (4本)
刈取部	適応作物	小豆
		360 (2本)
	ピックアップ条数	4条
	ゲージホイール調節	電動

※ 機体寸法は本機装着時の寸法。

主要諸元

名称	ヤンマーコーンヘッダー	
販売型式名	CH3R, 1150A-JP	
機体寸法	全長 (mm)	6715 (5960)
	全幅 (mm)	2295
	全高 (mm)	2760
機体質量 (重量) (単体)	(kg)	510
刈取部	適応作物	子実用とうもろこし
	刈取条数	3条
	条間適応範囲 (mm)	600-750

※ 機体寸法は本機装着時の寸法。
()内はデバイダ折りたたみ時。

■ 主要諸元

名称			ヤンマー普通型コンバイン						
販売型式名			YH1170						
刈幅			標準 [2.1m]		ワイドヘッダー [2.6m]		スーパーワイドヘッダー [3.2m]		
区分			QSJ(G)	QSMJ(G)	QWSJ(G)	QWSMJ(G)	QW32SJ(G)	QW32SMJ(G)	
機体寸法	全長	(mm)	6240						
	全幅	(mm)	2370		2840		3485		
	全高	(mm)	2760						
機体質量(重量)			(kg)	4950(4960)	5090(5100)	5000(5010)	5150(5160)	5070(5080)	5240(5250)
エンジン	型式名		4TNV94FHT-NRCV						
	種類		水冷4気筒立型ディーゼルインタークーラターボ (CR)						
	総排気量	(L[cc])	3.053[3053]						
	出力/回転速度	(kW[PS]/rpm)	86.0[117.0]/2500						
	使用燃料		ディーゼル軽油						
	燃料タンク容量	(L)	110						
	尿素水タンク容量	(L)	14.3						
始動方式			セルスタータ式						
走行部	クローラ	幅×接地長	(mm)	550×1960					
		中心距離	(mm)	1235					
		平均接地圧	(kPa[kgf/cm ²])	22.5[0.23] (22.6[0.23])	23.2[0.24] (23.2[0.24])	22.7[0.23] (22.8[0.23])	23.4[0.24] (23.5[0.24])	23.1[0.24] (23.1[0.24])	23.8[0.24] (23.9[0.24])
	変速方式		HST無段変速 (FDS)						
	変速段数		(段)	前後進無段×副変速3段					
	走行速度 (エンジン定格回転速度時)		(m/sec)	前進 = 低速:0~1.00 / 標準:0~2.00 / 走行:0~2.81 後進 = 低速:0~0.94 / 標準:0~1.84 / 走行:0~2.62					
刈取部	刈取装置形式		リール+プラットフォーム						
	デバイダ先端間隔		(mm)	2060		2590		3230	
	刃幅		(mm)	1976		2508		3148	
	刈高さ範囲		(mm)	-100~1000					
	リール	回転径×幅	(mm)	900×1915		900×2450		900×3090	
回転速度		(rpm)	20~47 (車速同調)						
脱こく・選別部	形式		スクリューローター						
	ローター	個数	(個)	1					
		径×長さ	(mm)	590(オーガ径)×2170					
		回転速度	(rpm)	310[大豆] / 525[コーン] / 710[稲・麦]					
	コンケーブ	面積	(m ²)	2.1					
		穴径	(mm)	□18 クリンブ網					
	チャフシーブ面積		(m ²)	1.47					
	グレンシーブ面積		(m ²)	0.27					
	総選別面積		(m ²)	1.74					
こく粒処理部	こく粒処理方式		グレンタンク・オーガ排出						
	タンク容量		(L)	1900					
	排出高さ/長さ		(mm)	5100/4300					
排わら処理装置			チョッパー・スプレッド (直接排稈機能付)						
諸装置	自動化装置		● 自動刈高さ制御(2モード) ● 刈取水平制御 ● バックアップ機構 ● 刈取オートリフト/オートセット ● リール車速同調/リール高さ制御 ● 脱こく選別制御 ● オーガオートセット/リターン ● エコディーゼル ● 自動快速制御 ● G仕様:自動直進機能						
	その他装置		● ロータリスクリーン ● スイングプレート ● オーガマルチリモコン ● 無線オーガリモコン ● デュアルモニター(バックモニター・オーガ先端モニター) ● 刈取詰り除去装置(刈取逆転) ● 排出オーガ掃除口 ● SA-R(スマートアシストリモート)						
作業能率(計算値)			(分/10a)	6~39[麦・大豆]	10~39[稲]	5~31[麦・大豆]	10~31[稲]	5~27[麦・大豆]	10~27[稲]
型式名			C0019(C0020)						
安全性検査合格番号			NARO 24/029						

※ 走行速度は、路面状態や機体質量により変化することがあります。

■ ラインアップ



2370mm 2760mm 6240mm

YH1170
標準ヘッダー [2060mm]



2840mm 2760mm 6240mm

YH1170
ワイドヘッダー [2590mm]



3485mm 2760mm 6240mm

YH1170
スーパーワイドヘッダー [3230mm]

ICT の力で、万全サポート。

スマートアシストリモート



外部 営農支援サービスとも連携

ウォーターセル「アグリノート」 ソリマチ「フェースファーム」

スマートアシストは、ヤンマーが提供するICTを活用したサービスです。

GPSアンテナおよび通信端末を搭載した農業機械から発信される稼働状況やコンディションの情報をもとに、機械トラブルの早期発見、盗難抑止に貢献します。

■ 24時間365日ヤンマーが機械を見守ります。

お客様の大切な機械をリモートサポートセンターで、24時間365日体制で見守ります。

機械の異常発生時は、機械が自動でヤンマーに連絡。

異常箇所の診断や部品の手配などをスムーズに行い、ダウンタイムを軽減します。



**エラー情報
通知サービス**

機械をモニタリングして
エラーを通知



**盗難抑止
見守サービス**

機械の稼働を
24時間見守る



**稼働診断
保守サービス**

大きなトラブルを
未然に防ぐ

■ スマートアシスト対応機なら、すぐにご利用いただけます。

スタンダードコース利用料金

トラクター **最大10年間**
コンバイン、田植機 **最大7年間**

無料

※無料期間終了後
22,000円/年(税込)



最新の情報は**こちらから** スマートアシストの詳しい情報が表示されます。(スマートアシストホームページ)

https://www.yanmar.com/jp/agri/afterservice_support/smartassist/

2021年4月以降に改定された利用約款を用いたスマートアシストリモートに関わる契約は、2020年3月に策定された農林水産省「農業分野におけるAI・データに関する契約ガイドライン」に準拠しています。
(「農業分野におけるAI・データに関する契約ガイドライン」の詳細は、農林水産省ホームページをご参照ください。)

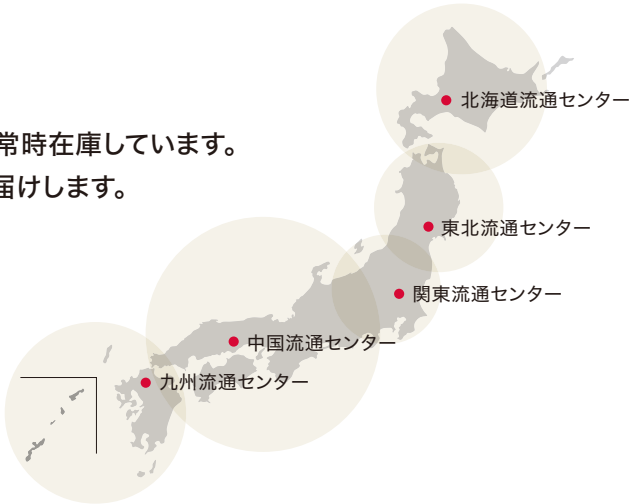
部品供給ネットワーク

ヤンマーでは、必要な部品を全国5ヶ所の流通センターに常時在庫しています。

お客様が必要なときに、必要なものを、販売網を通じてお届けします。

■ 地域に密着し、お客様の手元へ迅速に部品をお届けします。

■ より早く、正確にお届けするために、システムネットワークによる情報の一元化を図っています。



※ 実際の販売モデルとは形状が異なる場合があります。